



直接販売した米穀の数量報告書(精米)

<記入例>

氏名: \_\_\_\_\_

販売の相手先の業種 下記から選択してください ①卸・小売 ②中食・外食	販売の相手先	銘柄名等			契約年月日 ※4月1日以降に販売予定 で あるもののみ記入する。	販売(予定)年月日	個数	販売対象数量 (kg)
		年産	産地・銘柄等	量目(kg)				
③	農林 一郎	5年産	新潟県産 こしいぶき	30.0	↓	令和5年10月10日	5	150.0
③	農林 一郎	5年産	新潟県産 ゆきん子舞	30.0		令和5年10月11日	2	60.0
③	農林 一郎	5年産	新潟県産 コシヒカリ	10.0		令和5年10月31日	1	10.0
③	農林 一郎	5年産	新潟県産 コシヒカリ	10.0		令和5年10月30日	2	20.0
③	農林 次郎	5年産	新潟県産 コシヒカリ	30.0		令和5年11月3日	8	240.0
③	農林 次郎	5年産	新潟県産 コシヒカリ	30.0		令和5年10月10日	8	240.0
③	農林 三郎	5年産	新潟県産 コシヒカリ	10.0		令和5年10月10日	令和6年4月10日	6
・入力行が足りなくなったら、「行の挿入」または「コピー」で、下に行を増やしてってください。 ※シートは増やさないで、ください。  ・縦長になってもタイトルは固定してありますので、印刷時も1枚ごとに表		5年産	新潟県産 コシヒカリ	10.0	令和5年10月10日	令和6年4月10日	3	30.0
		・販売した銘柄名等をドロップダウンリストから選択してください。 ・直接入力することも可能です。			・収穫年の翌年の4月1日以降に米穀を引き渡す場合は、収穫年の翌年の3月31日以前に契約していたことを証明する書類の添付が必要です。		・収穫年の翌年の4月1日以降に米穀を引き渡す場合は、予定年月日を記入してください。	
① の 計					・販売の業種別に合計を集計してください。		35	810.0
② の 計								
③ の 計								
④ の 計								
合 計							35	810.0
玄米換算数量(合計×110/100)							891.0	

(注意事項)

(1) 交付前年度末(収穫年の翌年の3月31日)までに販売したものの又は販売契約を締結して販売の対象としたものの精米数量を、販売の相手先ごと、銘柄(例えば、令和〇年産特別栽培米〇〇県産コシヒカリ精米〇kg詰め等)ごとに分けて、すべて記入してください。(同一の販売相手先に係る販売契約が複数ある場合等において、同一販売先に係る記述が複数行にまたがっても構いません。また、販売先ごとの小計を計算する必要もありません。)

(2) 精米で販売した数量の合計に100分の110を乗じることにより換算した玄米数量を記入してください。1kg未満の端数があるときには、切り捨てにより整理してください。

(3) 販売の相手先ごとの販売契約書、販売伝票等(当年産の銘柄ごとの販売(予定)年月日、販売対象数量が確認できる書類)の写しを添付してください。(インターネットやFAX等による注文販売の場合は、販売の相手先ごとの注文書の写し、注文者への送り状(代金請求書)、受領書等注文を受けて販売の対象としたことの実績が確認できる書類の写しで可。)